



歴史ロマン古道ニュース

【発行】 歴史古街道団

団長：宮田 太郎 ☎090-7002-3431

本部：東京都多摩市

尾根の古道を歩こう！ 水辺の里道を歩こう！！

今年の秋からのテーマは“展望の良い丘の道、風そよぐ
暮らしの水辺を歩いて、いにしへの風景を楽しもう”

連日の暑さが続いた季節を終えて、いよいよ秋の古街道探索シーズンが始まります。

これからのテーマは「丘陵尾根の古街道を歩こう！・水辺の里道や古道を歩こう」という大きなテーマで健康的にウォークを楽しみたいと思います。様々な川沿い・水路沿いの道、展望の開けた尾根道をたどりながら歴史世界を想像しつつ、参加の皆さん同士で交流しましょう。

まずは相模川に近い座間丘陵や相模野で「武田信玄の幻の新国家構想のロマン“日本一の名地”座間丘陵ほしのやの丘と湧水巡り」「座間・目久尻川と芹沢川の高座海軍工廠遺跡」「上溝城跡と道保川湧水地」、「戦国時代の滝山道と和田義盛の館跡(高座渋谷)」などを、また鶴見川や支流周辺では「歴史がいっぱいの成瀬(恩田川沿いの道)」「古地図で訪ねる邑(ムラ)と街道 野津田村の街道と用水



▲ 尾根の古街道を歩こう！ シリーズ



▲ 水辺の里道を歩こう！ シリーズ

(鶴見川の道)」が行われます。また「石ころからわかること、露頭と石ころを求めて相模川を歩く」「多摩よこやまの道ウォーク(若葉台から尾根越えて聖蹟桜ヶ丘へ)」などたくさんのイベントが12月末まで続きます。

団長イベント「武田信玄の幻の新国家構想のロマン(座間丘陵)」、「上溝城跡と道保川」、「滝山道と和田義盛(高座渋谷)」は、恒例の平日版と土日版の2回に分けて同じ内容で開催されますので、どうぞ都合の良い方にご参加下さい。ただし10月の「座間・目久尻川」については祝日の一回だけの開催です。

なお「石ころからわかること(相模川編)」は、路線バス使用の都合上、申し込み制(メールによる受付)となります

のでご了承ください。基本のイベントは申し込み不要、当日受付です。

皆様のご参加をお待ちしております。

徳川家康に関する歴史講演会のご案内

テーマ

『徳川家康の日光への道と天海僧正の星方位の謎』

内容

徳川家康のプレーンであった天海僧正は、家康の遺言通りに遺骸(または御神霊)を日光山に埋葬し、上野には寛永寺を造りました。天海僧正とは何者だったのか、そして彼が行っていた星方位学的な思想や技術に基づく不思議な事業、上野山に眠る密教的遺跡、赤坂日枝神社の謎など、まだ多くが紹介されたことのないことについてお話しします。

■ 日 時：2023年9月10日(日) 13:30受付開始 14:00～16:00

■ 会 場：多摩市 関戸公民館 8階 大会議室

■ 定 員：90名(申込み不要) * 先着順(定員を超える入場は消防法により不可)

■ 参加費：(資料代)一般1000円・団員700円

■ 講演者：歴史古街道団 代表 / 古街道研究家 宮田 太郎

▶ 天海像(輪王寺蔵)



宮田太郎団長の講演&歩いて探索する古街道ロマン

2〜3ページ掲載の「現地探索ウォーク等のイベント」はいずれも以下の通りの共通内容です。

晴れていても、にわか雨・
通り雨対策として雨具は必需品

- 申し込み不要 当日現地にて受付
 - 昼食は基本は自由昼食
(複数の飲食店利用、弁当の方は最寄りの公園などで)
 - 荒天中止 当日朝6:30までに決定しHPに掲載 不明な場合は、宮田太郎〔☎090-7002-3431〕までお問合せ下さい
 - 参加費：団員1,000円／一般1,500円 ※高校生以下は無料 *詳細は歴史古街道団HP参照
- 問合せ先 { 宮田太郎 宛
kokaido@r3.dion.ne.jp ☎は下行参照
- 飲み物・雨具等
ウォーキンググッズ持参

2回にわたって同じ内容で開催(どちらかご都合の良い日にご参加下さい)



2023年9月24日(日)・10月19日(木)

■現地探索ウォーク《団員・一般対象》

武田信玄の幻の新国家構想のロマン
“日本一の名地”座間丘陵ほしのやの丘と湧水巡り

講師ガイド：宮田太郎(団長)

サブガイド：Yokiiさん(ウォーカーズ トレーナー)

【内容】武田氏の軍学書として知られる「甲陽軍鑑」の末書・下巻に、武田信玄が考え出した国家構想17カ条が記載されています。真偽のほどは不明ですが、驚くべきことは、その中に「全国を統一した暁には、堅固と繁盛に最も優れた日本一の名地である座間のほしのや(星谷観音の旧地を中心とする座間丘陵一帯)に“新鎌倉”を造り、堺から商人を呼び寄せて賑わいをつくり、信玄公の御在所とする」とあります。南北に続く長大なる段丘の尾根や、座間長宿の湧水源を巡りながらこの壮大なる歴史ロマンを探索していきます。



▲ 座間長宿の湧水源がある龍源寺

▲ 武田信玄公の新国家構想(宮田太郎・作図)

【コース】小田急線「座間駅」10:00集合→神井戸(かめいど)湧水→梨の木坂横穴墓跡→座間城跡→星谷寺→三峰神社→谷戸山公園(各自弁当昼食)→本堂山(星谷寺・旧地)→護王姫神社(鎌倉街道)→長宿湧水の里巡り(番神水、龍源院と湧水、鈴鹿明神社)→座間駅(15:45頃解散予定/歩行距離 約6km)
★各自弁当をご持参ください。

この日のみの(1回だけの)開催です



2023年10月9日(月・祝)

■現地探索ウォーク《団員・一般対象》

座間・目久尻川と芹沢川の高座海軍工廠遺跡

講師ガイド：古街道研究家・宮田太郎(団長)

【内容】相模川と境川にはさまれた相模野台地は、旧津久井郡城山町(現・相模原市)から藤沢や茅ヶ崎などの海岸までが縦長に牛の角の様な形で広範囲に続いており、古代以来の高座郡の範囲です。その台地の中ほどから、「引地川」「目久尻川」が湧き出し、相模湾に向かって南進しています。今回は戦国時代の北条氏照による直轄地「由比領」のうち、氏照自身が度々陣所とし、また武田信玄が「日本一の名地」として全国の支配地の中心にしようとした? 座間丘陵の後背地を、小田急線の相武台前駅付近から探っていきます。さらに芹沢川では高座海軍工廠の地下施設が眠るエリアも探索していきましょう。



▲ 目久尻川沿いの古街道

▲ 星谷寺の旧地・本堂山がある座間谷戸山公園

【コース】小田急線「相武台前駅」改札口前10:00集合→かにか沢公園→目久尻川→谷戸山公園(各自弁当昼食)→星谷道→崇福寺→芹沢川公園→高座海軍工廠地下壕跡→栗原神社→神社前、または立野台バス停から路線バスで座間駅(15:45頃解散予定/歩行距離 約6km) ★各自弁当をご持参ください。

2回にわたって同じ内容で開催(どちらか都合の良い日にご参加下さい)



2023年11月1日(水)・18日(土)

■現地探索ウォーク《団員・一般対象》

上溝城跡(相模原市)と照手姫伝説のハケ下湧水
～ 亀ヶ池八幡宮から姥川・鳩川・道保川の古道へ～

講師ガイド：古街道研究家・宮田太郎(団長)

【内容】相模原台地の上溝には南北朝時代の大きなお城があった?!
——横山公園はハケ下の姥川に面して高い断崖になっています。かつて南北朝時代には横溝氏の居城「上溝城」があったとも言われますが



▲ 亀ヶ池八幡宮

詳細は不明です。溝(みぞ)地方の横山党だったことから横溝の名前になったのでしょうか。照手姫伝説や謎の多い亀ヶ池八幡宮、和田義盛にちなむ坂道、神秘的なほどに美しいせせらぎがハケから流れ出る道保川公園などを探索していきましょう。



▲ 上溝城跡の姥川沿いの断崖



▲ 神秘的な道保川湧水源(親水公園)

【コース】JR相模線「上溝駅」改札口前10:00集合→八王子街道「上溝宿」跡(不動堂、市場跡ほか)→榎神社(照手姫伝説)→謎の上溝城跡(横山公園)各自 弁当昼食→丸山(上溝城の一角か?)物見道→和田坂→亀ヶ池八幡宮と長大な参道→道保川水源地とせせらぎの公園→西見坂→緑が丘1丁目バス停 = 相模原駅、淵野辺駅、相模大野駅
(15:45頃解散予定/歩行距離 約6km) ★各自弁当をご持参ください。

2回にわたって同じ内容で開催(どちらか都合の良い日にご参加下さい)



2023年11月30日(木)・12月3日(日)

■現地探索ウォーク《団員・一般対象》

戦国・小田原北条氏の滝山街道
と和田義盛の城館跡(高座渋谷)

講師ガイド：古街道研究家・宮田太郎(団長)

【内容】神奈川県大和市には昔から「滝山街道」と言う歴史ある道が南北方向に通っています。しかし、これが八王子の滝山城と鎌倉市の玉縄城を結ぶ重要かつ長大な軍事街道であったことはあまり知られていないようです。古道は八王子の御殿峠や淵野辺駅前、現在の相模大野駅



▲ 和田義盛ゆかりの薬王院

を渡る歩道橋などを経由して続いていたと考えられます。今回は中世の渋谷一族(東京の渋谷とも関係)が拠点とした高座渋谷界隈にこの道と由来を探り、また鎌倉時代の和田義盛の館跡伝説地や、左馬神社や鎌倉古道も探索しましょう。



▲ 大和市中和田の左馬神社



▲ 左馬神社脇の鎌倉道

【コース】小田急江ノ島線「高座渋谷駅」改札口前10:00集合→滝山街道下和田のクスノキ→下和田の左馬神社→イオン(各自 自由昼食、フードコート、サイゼリアなどあり)→上和田野鳥の森→和田義盛伝説の薬王院→城山遺跡(和田義盛の城館跡伝説地)→上和田川→小田急江ノ島線桜ヶ丘駅(15:30頃解散予定/歩行距離 約5km)

ガイドリーダーと行く「史跡探索！」

※4～5ページ掲載の企画はいずれも基本は事前申し込み不要。当日現地にて受付。

ただし11月11日(土)「関東のジオヒストリー現地探索スペシャル・イベント」は事前申し込みが必要です。

雨天時は中止。(当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。) 昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。参加費: 団員 500円 一般は1名1000円(保険料込み)

天候その他の理由のため日程やコースを変更する場合がございます。

事前に歴史古街道団のホームページなどでご確認ください。

古地図で訪ねる邑(むら)と街道

江戸時代の絵図を片手に 鶴川・野津田村の今昔を探索 — ムラの神社・街道と用水の歴史を探ります —

2023年
10月1日(日) 古不 ▶▶ 岡田 渉 (団員)
連絡先 / 岡田 渉 ☎ 070-3121-7002

【内容】江戸時代には土木技術が発達し、開墾や灌漑用水の整備がすすみ、農業生産力は向上します。人々は水を溜め活用する一方、自然の脅威に備え祈り・生活を安定させる努力を怠りませんでした。

今回は鎌倉街道上道や御尊櫃御成道も通った町田市野津田地区を、江戸時代の絵図をもとに探索します。最初に自由民権資料館で町田の歴史展示と絵図(原寸)を見学します。そのあと、縄文時代の遺跡や古戦場跡の綾部原を経由し、古代街道がパックされた野津田公園を訪ねます。午後は、北条氏照朱印状(新堰開墾願いにつき許可)にも記載されている鎧塚や、遺構が残る鎌倉古道を辿り、溜池の薬師池公園で解散します。

▶ 野津田村絵図(天和2年)
町田市立自由民権資料館(保管)



▲ 鎌倉古道(上ノ道)

【コース】小田急線「鶴川駅」北口改札口 9:30集合
=バス移動=「綾部入口」バス停→自由民権資料館
で10:00受付(展示と絵図を見学)→綾部原遺跡→
野津田公園(昼食)→華厳院坂→鎧塚(ベルクで)
→ダリア園→薬師池公園
(15:30ごろ 解散予定 / 歩行距離 約7km)
※バス停は薬師ヶ丘・薬師台までご案内します。



▶ 鎧塚

要申し込み 30名限定!

関東のジオヒストリー現地探索スペシャル・イベント

石ころでわかること

— 露頭と石ころを求めて相模川を歩く —

2023年
11月11日(土) 古不 ▶▶ 山田 昌広 (団員)
[山城と石ころ愛好家]
当日の連絡先 / 宮田 太郎 ☎ 090-7002-3431

【内容】私たちが生活している大地がどうやって造られてきたか。それを身近で示してくれるのが露頭と石ころです。今回は相模川沿いにある露頭と川原に転がる石ころを観察して関東地方に広がる平野や山地の成り立ちを妄想します。露頭と石ころから何が見えてくるのか一緒に楽しみましょう。★路線バスを使用する関係で30名限定(事前申し込み必要)となります。



▶ 岩切場跡石碑

【コース】JR相模線「原当麻駅」13:00集合(昼食は済ませてからお集まりください)=バス移動=田名向原遺跡(バス停)→
史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館→岩切場跡石碑→岩切場跡/
陽原段丘露頭→相模川川原→田名ホーム(バス停)=バス移動
=原当麻駅(17:00頃 解散予定 / 歩行距離 約5km)



◀ 陽原段丘の断面(露頭)

【このイベントのみ申し込み必要】歴史古街道団のホームページからお申し込みください。(10月15日受付開始。先着順30名限定。)
*申し込みがなく現地にお越しの場合は、お断り申し上げますこととなりますのでご了承下さい。尚、申し込み方法がわからない場合は宮田(☎ 090-7002-3431)までお問い合わせ下さい。

歴史ロマンがいっぱいの成瀬を歩く!

— 城跡や天狗型道祖神や誕生仏が見られます —

2023年

12月13日(水) 15:00▶▶ 三好孝典(同員)
中村敬子(同員)

連絡先 / 三好孝典 ☎090-9017-5573

【内容】町田市成瀬には鶴見川の支流の恩田川が流れ、桜の名所になっています。その周りには、城跡、天狗型道祖神、白鳳時代の「誕生釈迦仏立像」、ペリーから大統領「親書」を受け取った旗本のお墓、町田のナイチンゲールの頌徳碑(しょうとくひ)、



▲天狗型道祖神
(クリーンセンター前)

医者が患者のために崖を削ってつくった坂道、長津田検車区建設時に見つかった縄文時代草創期から古墳時代前期までの遺跡(看板のみ)などがあります。いろいろな時代の歴史ロマンを感じながら歩いてみませんか。



▲東雲寺(釈迦堂)

【コース】JR横浜線「成瀬駅」北口広場10:00集合→天狗型道祖神(西山児童公園)→成瀬城跡→杉山神社→東雲寺(釈迦堂・井戸弘道の墓)→天狗型道祖神(山之根稲荷社)→町田市立総合体育館(昼食・レストラン有・弁当館外)→堀江トヨ・頌徳碑(敷地工事中)→堂之坂公苑(井戸氏の米蔵跡)→天狗型道祖神(クリーンセンター前)→与兵衛坂(よへえざか)→なすな原遺跡→成瀬駅(15:30頃 解散予定/歩行距離6km)



古代レイラインをこの目で見よう

— 田端積石遺構を訪ね「蛭ヶ岳」に沈む夕日を実感 —

2023年

12月21日(木) 15:00▶▶ 岡田 渉(同員)

連絡先 / 岡田 渉 ☎070-3121-7002

【内容】JR相原駅を午後スタートし、境川沿いの古道や寺社遺跡を巡り、夕刻に田端環状積石遺構に到着します。この積石遺構は縄文時代の人たちが祭祀をつかさどった処とされています。古代の人びとが祈りをささげた場所に立ち、夕日が蛭ヶ岳に沈む時空を体験します。

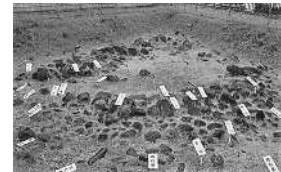
【コース】JR横浜線「相原駅」改札口前12:30集合(昼食は済ませてからお集まりください)→青木家屋敷→清水寺→相原坂下遺跡→蚕種石→日枝神社→田端環状積石遺構→京王相模原線「多摩境駅」



(17:00頃 解散予定/歩行距離 約6km)
なお日没時間は16:20頃。
また今年の冬至は12月22日です。



▲夕日が蛭ヶ岳に沈んでいく様子



▲発掘当時の田端環状積石遺構



▲青木家屋敷



▲清水寺 観音堂

●●● 同員のコーナー ●●●

「国道16号線」は 過去～未来をつなぐ輪



▲国道16号線
—「日本」を創った道—
柳瀬博一/著 新潮文庫

京都 純太郎(同員)

先日の同員の交流会で、「国道16号線」(著書:柳瀬博一氏 新潮社)をご紹介しましたが、国道16号線の周辺には、歴史上極めて重要な、各時代の人々の営みの痕跡が残されている、という一例をピックアップしてみます。

皆さんの頭の中で、東京湾を囲む16号線を中心とした地図をイメージしながら、次の質問です。

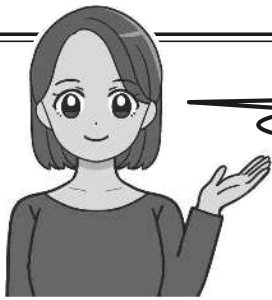
【4枚の地図にプロットされた点の正体は何か？

また最も数が多い点はどれか？】

答えは、①現代の16号線エリアにある「大学」②中世の「城、城跡」③縄文時代の「遺跡、貝塚」④旧石器時代の「遺跡」です。因みに、最もプロットされた点が多いのは、③「縄文時代の遺跡、貝塚」ですが、ここで、著者が強調したいのは、なぜ3万数千年前から現代に至るまで、「16号線エリア」に人々が暮らし続けているのか?という疑問です。この謎を解くカギについて、著者は地形の面、歴史的な面などを考察して解説しています。

私たちが住んでいる武蔵野台地、相模原台地の周辺には、まだまだ多くの古道が眠っていると考えられており、これらの古道を求めたいに探索しようではありませんか。





多摩よこやまの道を歩こう!

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。
(当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。) 飲料・敷物・雨具等ウォーキング・グッズは各自ご持参下さい。 参加費 / 半日ウォーク(下段の「大栗川倶楽部のんびり散歩」も含む)
団員・一般とも500円(保険料込み)

《半日ウォーク》 ≡≡≡≡≡ ガイド / 京都 純太郎 (団員) 連絡先 ☎090-3315-2381 (京都)

2023年9月16日(土) よこやまの道「東コース」(若葉台～聖蹟桜ヶ丘)

【内容】今回は、多摩市が「多摩よこやまの道」の東の終点としている丘の上広場から東へ向かうルートです。多摩市の連光寺にある天王森に鎮座する八坂神社を経由して、ほぼ尾根に沿って歩きます。途中、尾根古道跡と思われる場所に立ち寄り、古代東海道、鎌倉街道早ノ道、尾根古道が逢う坂(大坂)を通るロマン溢れるウォーキングです。



▲ 尾根古道



八坂神社



春日神社

【コース】京王相模原線「若葉台駅」改札口前10:00集合→丘の上広場→八坂神社(天王森)→連光寺公園→都立桜が丘公園→大谷戸公園→春日神社→大坂→京王線 聖蹟桜ヶ丘駅(12:30頃 解散予定)



大栗川倶楽部 のんびり散歩 《半日ウォーク》 “大栗川の流路はなぜ変わったか？”

2023年11月24日(金)

[中止の場合は11月27日(月)]

ガイド 高野みどり(団員) ☎090-5438-6408

【内容】この季節、大栗川にはセイタカアワダチソウの花が咲き、冬鳥のカモ類、運が良ければカワセミや猛禽類に会えるかもしれません。現在、ほぼまっすぐに流れている大栗川ですが、改修前はどこを流っていたのでしょうか。実際にその流路跡をたどってみましょう。また、東寺方用水の取水口である岩塚の周辺は、かつて、床下浸水などの水害が多かったところ。その理由を地図と地形から探してみたいと思います。もちろん、鎌倉裏街道・古代甲州道などの確認もして、帰路はくるま堀緑道を聖蹟桜ヶ丘駅へ戻ります。晩秋の屋下がり、ゆっくりのんびり散歩を楽しみましょう。



旧大栗川流路



くるま堀緑道

【コース】京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札口13:00集合(昼食を済ませてからお集まりください)→霞ヶ関橋→旧大栗川流路→寺方小学校付近→おばけ坂→宝泉院石仏など(トイレ)→岩塚周辺→くるま堀緑道(トイレ)→聖蹟桜ヶ丘駅(15:30頃 解散予定/歩行距離 約3km ほぼ平坦な道)



2023年度

第19回 歴史古街道団 定期総会 開催



2023年5月20日(土)午後2時より多摩市関戸公民館(8階)大会議室において、第19回定期総会が開催されました。団員総数126名のうち、本人出席者41名、委任状提出者36名、合計77名(定数25名)の決議で、すべての議案が承認されました。

なお、総会終了後宮田団長の特別講演①「縄文時代の大型ゲストハウスが多摩丘陵に複数あった?!」。および②武田義樹さん(団員)の「日々の生活を豊かにするヒントが古道探索にある」～「運動」「こころ」「脳科学的視点」から考える～の発表がありました。



《 2023年度 活動方針 》

1. 今後とり上げる活動テーマと範囲(地域エリア)の拡大
2. グループ探究活動の設置、交流型のフィールドワーク
3. ファン層ならびに参加者の世代幅を広げられる活動の実施PR
4. 支出の圧縮・見直しと、新規入団者募集を継続
5. 20周年に向けての計画と準備活動、団メンバーの参加協力要請

《 2023年度 運営委員 》

団 長	宮田 太郎 (留任)	事務局長	岡田 渉 (留任)
副 団 長	富田 昭夫 (新任)		
運営委員	井上 豊明 (留任)	伊藤 ミチ子 (留任)	小山 正太郎 (留任)
	齋地 カズエ (留任)	須 知 正 度 (留任)	須 永 洋 子 (留任)
	杉山 由利子 (留任)	高野 みどり (留任)	田 口 俊 弥 (留任)
	武田 義 樹 (留任)	中 村 敬 子 (留任)	真壁 寿美子 (留任)
	京都 純太郎 (留任)	三 好 孝 典 (留任)	山崎 ひろ子 (留任)
会計監査	松本 英 昭 (留任)		

団員交流会 レポート

2023年7月22日(土) 開催

交流会で得た古道探索の「多面性」と「優位性」の視座

運営委員 武田 義 樹

今回の交流会は、近年古街道団で同様イベントの実施例がなく、ほぼ白紙からのスタートでした。その分、構築には試行錯誤しながらも、宮田団長のイメージ構想と運営委員の構築力が結実したプログラムとなり、今後の新たな団の方向性やご自身の活動のヒントを得た団員さんも多かったのではないのでしょうか。

当日は2部構成のプログラムで、まず第1部のプレゼンテーションとしては団長が古道探索自体のもつ「構造力」と「野望」の解説、団員 篠原さんの「よこやまのみち稲城方面延伸構想」と連光寺エリアのトピック、そして運営委員 小山さんが実施の「デジタル地図への楽しみ方」が実地への落とし込みとなり、理解もスムーズに進みました。また



の登場は、いずれもご自分の言葉で語り心に響くもので好奇心が深まるものでした。

歴史古書販売も盛況で、「知恵の交換」の企画として今後も開催を望む声も複数ありました。また主催側としても準備にあたり顧客導線や陳列方法、値付け作業など苦労がありながらも達成感のあるものでした。



そして追加プログラムとして第3部「クイズ大会」を実施することが当日発表されました。

賞品として「宮田団長の本・鎌倉街道伝説」と「新鮮野菜」

がアナウンスされ、特に、現在、ほぼ在庫切れの団長本は希少価値があり、さらに盛り上がったのは岡田事務局長の農園で栽培された「無農薬・朝採れ野菜」の大量ご提供。賞品争奪を指しクイズ合戦は熱を帯びたものとなりました。希望の新鮮野菜を手にされた会員様は、みなさん喜んでおられた様子で、コロナ禍で親睦会的なイベント開催が控えられてきた时期的な要因も重なり、会場全体大いに盛り上がりました。



最後に団員篠原さんの音頭により万葉集「赤駒を～」を



一同で心をひとつに朗唱した後、伊藤ミチ子さんが地元八王子で見つけた銘菓「赤駒」について、逸話を披露しつつ団員さんへ進呈しお見送りするという名

案のもと、盛況のうちにお開きとなりました。

今回の交流会を俯瞰的にとらえみると、自分としても「古道による活動」の優位点がかかり認識できる機会となりました。

歴史古街道団は多くの人々の「集合場所」であり乗換可能な居場所であると例えると、ここに多くの人が集い、共鳴をしつつまた起点にして乗り換え、各々が得た知見を糧にして新たなプラットフォームへ旅立つ「ハブ空港」的な役割を担えればよいのではないのでしょうか。

「道ism」は息長く取り組むことのできる「趣味」にもなり、学術的にも深く掘り下げ「ライフワーク」となりうる活動であると感じることができた交流会であったと思います。今後とも団員皆さんの様々なアイデアが集結して、多種多様に好奇心を刺激する楽しいイベントが開催できることを望んだ次第です。



歴史古街道団 予定表 (2023年 9月～12月)

※注(団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーク 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーク

月 日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込	問合せ先
9月10日 (日)	多摩市関戸公民館 8階大会議室 13:30受付開始	【宮田】講演会 『徳川家康の日光への道と天海僧正の星方位の謎』	一般:1000円 団員:700円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
9月16日 (土)	京王相模原線 「若葉台駅」 改札口前 10:00	【ガイド;団員 京都】多摩よこやまの道を歩こう! 東コース(若葉台～聖蹟桜ヶ丘)<半日>	一般&団員 500円	当日	(団)京都 TEL090-3315-2381
9月24日 (日)	小田急線「座間駅」 改札口前 10:00	【宮田】現地探索&健康ウォーク 武田信玄の幻の新国家構想のロマン “日本一の名地”座間丘陵ほしのやの丘と湧水巡り	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田・武田 TEL090-7002-3431
10月19日 (木)					
10月1日 (日)	小田急線「鶴川駅」 北口改札口前 9:30 <small>(自由民権資料館で10時受付)</small>	【ガイド;団員 岡田】古地図で訪ねる邑と街道 鶴川・野津田村の今昔を絵図を片手に探索 ～ムラの神社・街道と用水の歴史を探ります～	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)岡田 TEL070-3121-7002
10月9日 (月・祝)	小田急線「相武台前駅」 改札口前 10:00	【宮田】現地探索 座間・目久尻川と芹沢川の高座海軍工廠遺跡	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月1日 (水)	JR相模線「上溝駅」 改札口前 10:00	【宮田】現地探索 上溝城跡(相模原市)と照手姫伝説のハケ下湧水 ～亀池八幡から姥川・鳩川・道保川の古道へ～	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
11月18日 (土)					
11月11日 (土)	JR相模線「原当麻駅」 改札口前 13:00	【ガイド;山田】関東のジオヒストリー現地探索 ～露頭と石ころを求めて相模川を歩く～ 《10月15日 受付開始。先着30名さま限定》	一般:1000円 団員:500円	事前申込	(団)宮田 <当日の連絡先> TEL090-7002-3431
11月24日 (金)	京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」 西口改札口前 13:00 <small>中止の場合11/27</small>	【ガイド;大栗川倶楽部】 大栗川倶楽部のんびり散歩 <半日> “大栗川の流路はなぜ変わったか?”	一般&団員 500円	当日	(団)高野 TEL090-5438-6498
11月30日 (木)	小田急江ノ島線 「高座渋谷駅」 改札口前 10:00	【宮田】現地探索 戦国・小田原北条氏の滝山街道と 和田義盛の城館跡(高座渋谷)	一般:1500円 団員:1000円	当日	(団)宮田 TEL090-7002-3431
12月3日 (日)					
12月13日 (水)	JR横浜線「成瀬駅」 北口広場10:00	【ガイド;団員 三好・中村】 歴史ロマンがいっぱいの成瀬を歩く	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)三好 TEL090-9017-5573
12月21日 (木)	JR横浜線「相原駅」 改札口前 12:30	【ガイド;団員 岡田】田端環状積石遺構を訪ねる ～夕日が蛭ヶ岳に沈む古代レイラインをこの目で見よう～	一般:1000円 団員:500円	当日	(団)岡田 TEL070-3121-7002

編集後記

今、高校の地理・歴史は選択科目から必修になり、現場に立って、地形・地図の3次元空間を読み取り、そこに歴史という時間軸を重ね、多面的な思考力を鍛える授業が試行されているようです。

この秋からのウォークも、相模と多摩丘陵の里をぶらりと訪ね、地形と湧水や歴史の道を探るイベントを計画しました。

ぶらっと！ご参加お待ちしております。

編集責任：歴史古街道団(岡田)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部：東京都多摩市
TEL.090-7002-3431

ホームページ <https://www.rekkodan.com/>